

事業所名

児童発達支援 このき愛西校

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様ひとりひとりのペースに合わせて。ゆっくり丁寧にサポート。</li> <li>・お子様の「できた」「楽しい！」を増やし、ご家族の安心につながる場所を目指します。</li> <li>・発達段階に合わせたサポートで自分らしく生きていく力を育てます。</li> </ul>							
支援方針	<p><b>【感覚統合】のための3つの取り組み</b>          普段私たちは、音や光、何かに触れる感覚など、沢山の”刺激”に囲まれています。脳には次々と入ってくる様々な情報を分類したり整理したりする働きがあります。この脳の働きを【感覚統合】といいます。          私たちは、①運動（からだの動かし方を知る）②学習（興味ある事を学ぶ）③活動（工作・ランチ作り・お出かけなど）の“3つの取り組み”をお子様の成長発達に合わせて行っています。子ども達が楽しみながら【感覚統合】していくことで、子どもたち自身の可能性を広げていくことを目指しています。</p>							
営業時間	平日 学校休業日	11 9	時 00 00	分から 19 18	時 00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	基本的な生活（食事・排泄・清潔・着脱衣・お手伝い・挨拶など）を身に付けることができるようお子様のペースに合わせて支援を行っています。						
	運動・感覚	遊びや活動の中に、感覚（視覚・聴覚・触覚・嗅覚など）を必要とするものを取り入れています。平日は30分ほどの簡単な運動（ストレッチ、筋トレ、ラダー、バランス、ボールなど）を行い、休業日は体操や散歩、庭遊びを行っています。それらを通して身体機能の向上や姿勢保持に必要な筋力アップが出来るよう支援をしています。						
	認知・行動	運動遊びは数の認知・空間認知・自己能力の認知の助けになり、身体感覚を養い、ボディーイメージを形成します。ボディーイメージの形成は、物や人とぶつかることを減らし、力加減を調節することや、怪我のリスクを減らします。身体感覚を養うことで、上下・左右・前後などの感覚が身に付き、書字能力や識字能力、日常生活動作の向上に役立つと考えています。〇〇しながら××するなど、複数課題をクリアするコーディネーショントレーニングを取り入れることで、脳の同時処理能力機能を養う事をねらった活動を取り入れています。						
	言語 コミュニケーション	絵カード（フラッシュカード）などを活用し、具体的な事物と言葉の意味を結び付け、語彙力の向上や自発的な発声を促しています。手話を活動に取り入れ、聴覚にハンデのあるお子様とのコミュニケーションの取り方を学んでいます。また、対人場面において相手に適切に対応するためのスキル獲得を目指し、1人1人の特性に合わせて個別の支援計画に基づき、言語的・非言語的なコミュニケーション手段を獲得するための支援を行っています。						
	人間関係 社会性	異年齢が一緒となって活動を行うことによって、それぞれの特性に合わせたコミュニケーション方法やルールを考えることになり、多角的なものの見方を養うことができます。また、勝ち負けのある遊びを行うことで、ルールを理解する力、言語を理解する力、他人と協調する力などを養うことができます。なかには、周囲の子と一緒に遊ぶことが苦手なお子様もいますが、ルールを工夫することで段階的に集団遊びに参加できるように支援しています。						
家族支援	保護者面談（随時） 関係機関との連携 子育て支援相談等						移行支援	進学先・就労先との情報共有 進学・就労・環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携	各関係各所との連絡事項・情報共有 ケース会議等の連携 相談支援事業所・社会福祉協議会との連携						職員の質の向上	内部研修（5～6回/年 外部講師を招いて実施） 外部研修（発達センター等が主催の研修に参加） 事例検討（随時）
主な行事等	季節のイベント おやつやランチ作り 工作 運動遊び お出かけ							